



特集 スクラムを組んで 青少年健全育成

問い合わせ／生涯学習課(☎581・2121内線532)へ。

青少年の健全育成には、家庭や学校、関係機関などの努力に加え、地域の協力が不可欠です。日ごろから地域で子どもたちを温かく見守り、励まし、ときには注意する、有害な情報や環境から子どもたちを守るなど、より多くの人々がさまざまな地域活動にかかわることが、青少年の健全育成に大きな力となります。

子どもたちの 健やかな成長を願って



寄居町青少年健全育成
町民協会会長
矢部 伸昭

昨年は新型インフルエンザが流行し、町内の学校でも学級閉鎖・学年閉鎖、学校行事の延期

や中止等、これまでに経験したことのない厳しい対応を迫られた一年でした。こうした中にもありまして、おかげさまで町内の子どもたちは地域の皆さんに温かく見守られ、大きな事件や事故もなく新しい年を迎えることができました。

小・中・高校生による暴力行為の発生件数は約6万件と、3年連続の増加となりました。前年度に比べて13%、約7千件の増加となり、過去最多を更新しました。小・中学生の暴力行為が急増している背景として、文部科学省や教育委員会は「コミュニケーション能力の不足」「感情がうまく制御できなくなっている」などといった子どもの気質の変化にあるとみています。この調査結果からも、子どもの暴力行為が止まらない、非行の低年齢化が進んでいるなど、子どもたちを取り巻く深刻な状況が浮かび上がっているように思えます。

もたちを支えているところでは、非行や問題行動が少ないと言われています。子どもたちの健やかな成長は、私たち町民の強い願いでもあります。

寄居町青少年健全育成町民会議では、今年も関係の皆さんのご協力をいただきながら、非行防止街頭キャンペーンや有害図書調査など、各種の取り組みを進めています。今後も「寄居町の子どもは寄居で守り、育てよう」をモットーに、地域ぐるみで次の世代を担う子どもたちを非行から守り、犯罪に巻き込まれることがないように明るい町づくり、環境の整備に努めていきます。

今だからこそ 「心あたたまるいい話」を…



男衾地区青少年健全育成
協議会会長
吉田 芳雄

「子どもは地域の大切な宝物」であることは、言うまでもありません。家庭にとっては「かけがえない希望の星」であり、また、良い環境のもと、優れた指導者に恵まれると、子どもは生

き生きと輝きを増して成長します。子どもたちの最初の教師は母親であり、父親であります。両親の適切な指導助言は、子どもの成長には欠かせません。そして、家庭、学校、地域が互いに心を一つにして、青少年の健全育成に力を注ぐことが出来たら、大変素晴らしいことだと思います。

残念でなりません。明るい話題や素晴らしい出来事は、なぜかあまり放送されません。いい話は当たり前ということで、マスコミも取り上げないのでしょ。か。

男衾地区では、「最近、よく挨拶してくれる」とか「子どもたちが落ち着いて勉強や運動を頑張っているね」といった声をよく耳にします。それだけで地域住民として大変うれしく、幸せな気持ちになります。青少年を取り巻く現状は、とかく暴力事件などマイナス面の話題が広まり、いい話はずっとあるはずなのに、表になかなか出てきません。

童・生徒の日常生活の中で日々体験している大変心あたたまるいい話をたくさん集めて、多くの皆さんに読んでいただこうということになり、小・中学生に原稿をお願いしました。

多くの方のお陰で「郷土男衾心あたたまるいい話」集が完成しました。小学一年生から中学三年生までの作文が31作、絵画が35作、そして小学生による俳句が128作掲載されています。どの作品も児童・生徒による貴重な作品です。子どもたちの豊かな心が素直に表現されています。読んでいるうちに、自然に自分の心があたたかく明るくなります。多くの人に読んでいただけたら幸いです。

家庭との連携による 健全育成



寄居小学校長
鳥塚 富弥

現在、子どもたちの教育をめぐっては、基本的な生活習慣の乱れ、学ぶ意欲や学力・体力の低下傾向、社会性や規範意識の

欠如等、解決すべき課題が指摘されています。これらの課題は関連していて、1つの課題が解決されないで続くなどの課題も発生し、子どもたちの健全育成に悪影響を与えてきます。そのため課題解決には総合的な取り組みが必要となります。

寄居小学校では、数年来「体力向上」を学校研究課題に掲げて取り組んでいます。体力向上のためには授業の充実を図り、さらに授業前・授業間運動の工

夫、水泳・鉄棒・跳び箱等の特別指導も行ってきました。しかし、より推進するためには、家庭との連携が必須と考え、次のような協力をいただいています。まず健康でなければならぬことから、「毎日の運動」「十分な睡眠」「調和のとれた食事」ができていないかを項目ごとにチェックしてもらい、しっかりと取り組んだ児童には、家庭からも学校からもほめて意欲を喚起しています。

また授業の効率を上げるためには学習規律が重要であることから、記録カードを作り、規律ある態度6項目と毎月の生活目標に関して、毎月2回児童に自己評価させ、保護者にも確認してもらっています。その他、長期休暇中には「お手伝いで体力向上」「家庭での運動のすすめ」などをお願いをして取り組んでいただいています。これらの取り組みにより、児童の体力は県平均と比較して大幅に向上しています。また、この取り組みは体力向上だけでなく、親子の会話の増加、基本的な生活習慣の育成、学力向上、規範意識の向上などにも役立ち、児童の健全育成に成果を上げています。地域の方にもさまざまなご協力をいただいています。これらの応援があってこそできる寄居小学校の教育と感謝しています。